

北の農職家

KITA NO NOUSYOKUKA

2019

8

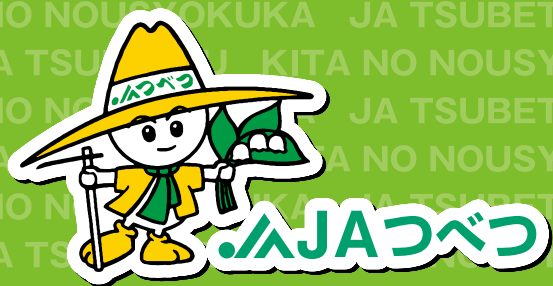
No.272



JAつべつ組合員交流会にて

【開催日】7月20日(土) 正午より

【開催場所】JAつべつ活汲事業所 特設会場にて



令和元年度 組合員交流会を開催!

7月20日(土)正午よりJAつべつ活況事業所人参施設前特設会場にて、組合員・組合員家族・佐藤多一町長をはじめとする津別町役場関係者・JA職員の総勢227名(子供含む)参加のもと、前日の降雨の心配はありましたが、最高気温30度を超える炎天下のもと開催されました。昨年度については、12月に町民会館で開催致しましたが、実行委員体制にて議論を充分に重ねながら、青年部・女性部・フレッシュミズの協力を頂き『つべつ和牛』に舌鼓をうちながら、和やかな夏のひと時を過ごす事が出来ました。



▲乾杯の発声
矢作実行委員長



▲来賓挨拶 佐藤町長



▲開会挨拶 山下組合長



▲閉会挨拶 佐野職代



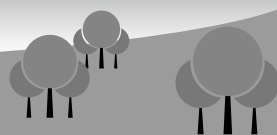
▲新入職員の紹介



▲会場の様子



JA情報館



JA役員と全職員を対象にメンタルヘルス研修会を開催

6月20日(木)・21日(金)の2日間にわたり業務終了後、JA役員と全職員を対象としたメンタルヘルス研修会を(株)イシキスト 企業メンタリストの山田 康博氏を講師として招きJA会議室にて開催しました。



2日間で延べ78名(うちJA役員5名)参加のもと、『自分自身の内面とまわりの空間の最適化!!成果が出やすい「形態形成場」を整える方法』と題して、企業に於ける様々なメンタルヘルスの観点から講演頂きました。講演では、自分自身の内面に秘められている感覚や価値観



に対しての周囲(相手)との係わり方等、参加職員の実践や山田氏のマジックによる演出を交えながら、ユーモア溢れる研修会となりました。会場は終始笑い笑顔に満ち溢れており『より効率的に結果を出す言葉』として『リアクション言語』があり、言葉それぞれの意味を分かりやすく解説していました。

外部講師を招いてのメンタルヘルス研修会は初めての試みでしたが、参加した役職員は実際に体を動かし、時に外まで聞こえるような大声を張り上げながらの研修会で楽しく終了する事が出来ました。今後についても、働きやすい職場環境を目指すとともに、『チームJAつべつ』として組合員・地域の皆様に求められるJAつべつを全役職員一丸となり目指します。



コンプライアンス研修会を職員全体会議にて開催

7月11日(木)の業務終了後、全職員を対象としたコンプライアンス研修会をJA北海道中央会北見支所 門谷調査役を講師としてJA会議室にて開催しました。



44名の参加職員のもと、コンプライアンスの概念や不正のトライアングル・道内のJAに於ける近年の不祥事発生事例や背景について報告があり、不祥事を未然に防止する具体的な取組について説明がありました。また、JAが目指すべき指針とした『第29回JA北海道大会決議事項』についての説明と併せて、JAつべつの経営理念と経営方針・津別町農業振興計画・第9次中期経営計画について説明・解説いただき、全職員がコンプライアンスとJAつべつの今後に向けての方針等について意識を共有・再確認できた研修会となりました。

役員推薦会議委員が決定しました

役員改選を次年度に控え、7月4日(木)PM2時から役員推薦委員候補者会議を開催し、役員推薦委員が決定致しました。

その後PM3時からの第1回役員推薦会議の席上、宮川常務より各委員に委嘱状が交付されました。

任期:令和元年7月4日から
令和4年7月3日

【役員推薦会議】

委員 長/竹原 俊博(第3地区)

副委員長/松木 憲賀(第1地区)・石川 剛(第2地区)

委員/細川 直祐(第1地区)・仲田 幸司(第2地区)・柏葉 真一(第3地区)・幾島 大智(JA青年部枠)・迫田 彩由美(JA女性部枠)・矢作 芳信(農協推薦枠)・藤原 英男(農協推薦枠)・金一 和美(理事会推薦枠)・眞鍋 英二(理事会推薦枠)



JA情報館



JAつべつ女性部 道内視察研修を実施

JAつべつ女性部(部長 迫田彩由美)は6月26日(水)~27日(木)の日程で、札幌方面へ部員13名が参加し視察研修を行いました。早朝の出発となりましたが、移動のバスの中では会話や笑い声が響く楽しい道となりました。

1日目は、劇団四季の人気ミュージカル「リトルマーメイド」を鑑賞しました。華やかな演出とそれに負けない演者それぞれの歌唱力・演技力の高



さに驚かされつつ、内容は面白さもあり、感動シーンもありで大満足の2時間30分となりました。部員からも「面白い」「また来たい」といった声がたくさん聞かれました。

2日目は、江別製粉株式会社の視察を行いました。最初に、生産している小麦の種類やより良い品質を生み出すための工夫などを説明して頂いた後、工場見学を行いました。安心安全な小麦製造に対する強いこだわりを感じながら、部員の皆さんも真剣な表情で製造の様子を見ていました。現場を間近で見るとは滅多にないことなので、とても貴重な体験となりました。

参加された部員の皆様お疲れ様でした。1泊2日の短い日程ではありましたが、終始賑やかで楽しく、部員同士の交流を行い充実した研修となりました。

津別町スマート農業研究会 津別町農業法人会 合同視察研修を実施



津別町スマート農業研究会(会長 竹原俊博)と津別町農業法人会(会長 鹿中徳三郎)の合同視察研修が、7月8日(月)から1泊2日で開催されました。1日目は、岩見沢市におけるスマート農業について、岩見沢市企画財政部の黄瀬次長よりお話を伺いました。岩見沢市は、平成5年頃からICT活用により「市民生活の質の向上」と「地域経済の活性化」をテーマに全国の地方自治体に先駆けて高度ICT基盤(自営光ファイバ網200km等)を整備し、教育や医療・福祉など広い分野での利活用を展開しています。農業についても、農業気象サービスや高精度位置情報により走行ライン適正化による労働時間の削減を実践し、ロボットトラクター利用に向けた実証実験では、完全無人作業により慣行作業と比較して労働時間の7割以上を削減との説明を受けました。2日目は、江別市の株式会社輝楽里(きらり)を視察しました。法人設立の経緯や、メリット、デメリット、雇用の関係など質問を受けながら説明頂きました。また、施設を見学中に従業員の方のお話も伺うことができました。

2日間を通して、多くの情報を得る事ができた視察研修になりました。



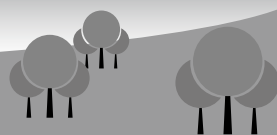
津別町甜菜振興会 視察研修を実施

津別町甜菜振興会(会長 仲田幸司)は7月4日(木)~5日(金)の日程で、帯広市の東洋農機(株)と清水町の日本甜菜製糖(株)清水紙筒工場及び札幌市のシンジェンタジャパン(株)札幌支所にて視察研修を実施致しました。東洋農機(株)では2畦収穫期の説明を受け、作業効率により1日3ha実施可能との事であり、畝幅の深さを調整し、土を細部まで取り除く事ができる構造となっていました。日本甜菜製糖(株)清水紙筒工場では、ABCの3タイプのポットに分かれ、更にライン毎に色分けされている為、他の製造ライン上の製品が混ざらない構造となっていました。会員の声では全道の紙筒を生産している為、抜き打ちでの検査となる事から稀に不良品もあるため、今後改善を期待しているとの意見もありました。





JA情報館



カルビー フィールドデーを開催



7月11日(木)PM2:00よりカルビーポテト(株)鹿児島工場の棚木工場長をはじめとする担当職員6名を招き、生産者25名出席のもとカルビーフィールドデーを開催致しました。講習会では、軟腐病については初期防除(予防防除)が重要である事や今年度の生育状況の傾向と品種毎の情勢について説明がありました。講習会終了後、圃場視察を4箇所行い懇親会を実施致しました。



夏本番!! 小麦収穫作業始まる!!

7月22日(月)から今年産の小麦収穫作業が開始されました。今年産の小麦作付面積は、きたほなみ70,638a・ゆめちから7,086a・春よ恋3,694aの合計81,418aであり、初日から各作業班一斉に小麦の収穫が始まりました。今年産については、7月29日現在で昨年を上回る収量を予想しており、平均受入水分は約22%程度で推移しています。天候が順調であれば8月15日前後には終了する予定です。



種子馬鈴薯防疫検査を実施 全圃場合格

7月10日(水)AM8:30より横浜植物防疫所井戸次席植物検疫官により、種子馬鈴薯第2期防疫検査が実施されました。検査圃場は15圃場で検査株数34,600株、植物検診145株を実施し全圃場合格となりました。また、ウイルス株及びアブラムシ、シストセンチュウについても検出されませんでした。黒あし病や黒あざ病が若干見受けられましたが、今後も発生する事が予想される為、注意が必要との事でした。今後についても、圃場巡回と共に抜取りを行い、収穫まで管理徹底し良質な種子馬鈴薯の生産に努めます。



小麦コンバイン安全祈願祭 安全講習会を開催

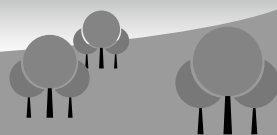


7月18日(木)AM10:00からJA役員・津別町小麦収穫委員会・各作業班オペレーター・農業機械メーカー・JA農産課の計28名出席のもと、小麦コンバイン安全祈願祭を開催致しました。安全祈願祭には今年度新たに導入した『クラス製 コンバイン レキシオン620』1台を配置し、今年度の小麦収穫に係る安全を祈願し厳粛に執り行われました。また、安全祈願祭終了後に安全講習会を同会場にて開催し、活汲駐在所の佐々木巡査部長よりコンバインの走行や運搬について説明がありました。





JA情報館



津別町肉牛振興会 交流会を盛会に開催

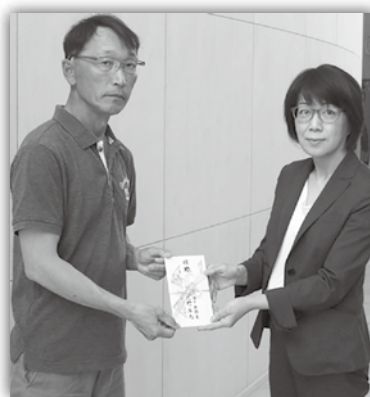
7月17日(水)に津別町肉牛振興会(会長 北野淳志)交流会を21世紀の森キャンプ場にて、会員・家族・津別町・JA新入職員・畜産課事務局ら総勢35名が参加し盛会に開催しました。作業の繁忙期は集う事が少ないため、夏の夜に会員が参加し情報交換等の交流を図りました。



TSUBETSU WAGYU
北海道つべつ

認定こども園(こどもの杜)に 『つべつ和牛』を贈呈

7月16日(火)に津別町肉牛振興会(会長 北野淳志)は、認定こども園(こどもの杜)に『つべつ和牛』の贈呈を行いました。目録の贈呈を行った北野淳志会長は、「地域の食材を食べて元気に育って欲しい」と挨拶し、長政久仁子園長は「毎年つべつ和牛は園児達に人気があります。」と述べられました。お盆明けの8月20日(火)は『つべつ和牛とオーガニック牛乳』が、メニューとして登場する『オールつべつ給食』として津別町産の食品が子供達に提供されます。



『つべつ和牛』 産地研修会を開催

7月12日(金)から13日(土)の2日間の日程で、『つべつ和牛』産地研修会を開催しました。講師として、東京食肉市場の菅井販売担当次長と東京食肉市場せり人の富岡主査を招き、情勢等の講演と11月1日(金)に開催される全国肉牛共励会参加に向けて激励の言葉が述べられました。海外での和牛ブームで東南アジアの輸出で需要はあるが、ロース肉が中心で、バラ肉の需要が少なく価格が低い事が報告されました。『売れるバラ肉とは。つべつ和牛のプレミアム版には何が必要か。雄牛の肥育と雌牛の肥育。どう売込みをするか。』と講演頂き、意見交換会を実施いたしました。2日目は生産者の牛舎を東京食肉市場職員が視察し、現地での研修を行いました。牛の状態を確認しながら、削蹄や給餌等の聞き取りを行いました。



青年部協力のもと 廃プラ回収作業を実施



7月10日(水)・11日(木)に活汲事業所麦乾工場前にて、今年度1回目の廃プラ回収作業が行われました。JAつべつ青年部(部長 幾島大智)の協力を頂きながら、肥料袋や農薬空容器等を中心に合計56,660kgを回収致しました。2回目の廃プラ回収作業は、11月頃を予定しています



JAグループ通信

JA北海道中央会

7月3日に全道JAの組合長ら70名が参加し、国際貿易協定・交渉の情勢並びに令和2年度国費予算概算要求に係る農林水産省との意見交換会を実施しました。日米貿易協定交渉を含む国際貿易協定については、農業が犠牲にならないよう取り進めるよう十分な検証と対策を実行するよう要望しました。国費予算概算要求については、JAグループ北海道で決定した政策提案を元に、作目別共通対策、水田農業対策、畑作青果対策、酪農畜産対策と農林水産省に対して、北海道の生産現場に必要な意見を要望しました。



今年、国が「食料・農業・農村基本計画」を見直す5年に1度の重要な年であり、見直しにあたっては専業農家が多い北海道農業が食料安定供給に果たす役割の明確な位置づけと、北海道農業の根幹を支えている家族経営が農業生産を維持・拡大できる施策を盛り込むこと等、を要望しました。引き続き、JAグループ北海道の政策提案の実現を図り、今後も北海道の農家・組合員が安心して営農できるよう取り組んで参ります。

JA北海道信連

札幌市の大通公園には、各企業等の協力により造成されているスポンサー花壇があります。JAバンクも、農林中央金庫が中心となって、長年、花壇造成に協力してきています。今年は、7月6日、農林中央金庫札幌支店や北海道信連の職員などが参加し、大通公園西4丁目で植栽を行いました。



ホクレン

ホクレン女子陸上競技部は、北海道内の小学校で「みんなで走ろう!陸上教室」を開催しています。今年は厚真町の厚真中央小学校を皮切りに、同校を含む6校を対象として、走り方の基本や基礎トレーニング方法などを分かりやすく指導しています。この活動は地域・社会貢献活動の一環として2011年から続けております。厚真中央小学校では4、6年生合わせて約70人を指導し、楽しみながらランニングの基本や筋力トレーニングを教えました。



JA共済連北海道

JA共済連では、7月6日に札幌ドームで開催された「北ガスグループ6時間リレーマラソン」に有志26名が参加しました。他の企業も多数参加しており、JA共済連では「ひと・いえ・くるまの総合保障」を掲げ、職員が揃いのTシャツを着て一生懸命走ること、JA共済を大きくPRしました。今後もこのような活動を通して多くの皆さんに「JA共済」を知っていただくよう活動していきます。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様との生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

このたび紙面をリニューアルし、より読みやすくさらに健康に役立つ医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



がんばれ!日本の農業



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容をご紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

営農支援室からのお知らせ



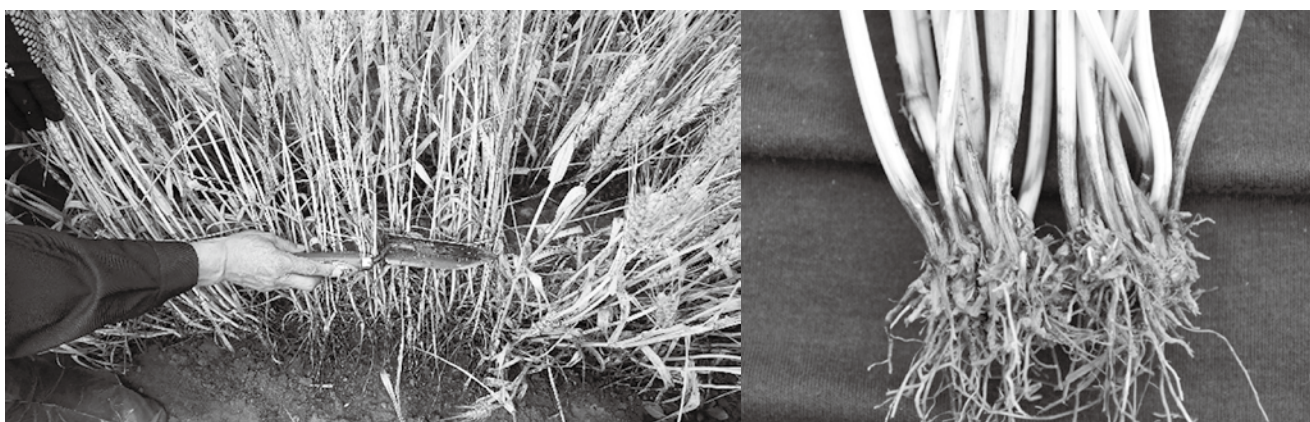
8月中旬～9月中旬までの営農技術

畑作物

秋まき小麦

4年以上の輪作を行い、ムギ類萎縮病・コムギ縞萎縮病・眼紋病・立枯病・条斑病など、連作によって被害が拡大する病害の発生や雑草の繁茂を回避して下さい。

本年は立枯病による早期枯れあがりや眼紋病の発生が目につきました。



立枯病と眼紋病の併発株 7月9日(成熟前に枯れてしまいます)

①排水対策

排水性の劣る圃場は、明・暗渠の整備、又は簡易明渠の設置等の排水対策を行って下さい。また、心土破碎により耕盤層を破碎し、根張りの良い排水良好な圃場を作ることが重要となります。圃場の排水性が低下すると、上記病害の発生が助長されることから、播種前に十分な排水対策を行って下さい。

②土壌pHの確認

播種前に必ず土壌pHの確認を行い、低い場合は土壌pHが5.5程度になるように炭カル等の石灰質資材で矯正し、小麦の播種の準備をしましょう。
(pHが5.0を下回ると小麦が消えてしまいます)

ばれいしょ

収穫は2～3日晴天が続き、土壌がある程度乾いて塊茎に付着しない状態で行って下さい。収穫作業は、塊茎に皮むけ・傷・打撲・堀残しを生じないように収穫機の調整・作業速度に留意が必要です。

また、コンテナ等への収納作業においても、塊茎に衝撃を与えないよう注意するとともに、選別・運搬・風乾時の取扱いは丁寧に行って下さい。

収穫後の塊茎は水分が高く、呼吸熱などにより傷から雑菌が侵入しやすく、貯蔵性が悪くなるので十分に風乾を行って下さい。



豆 類

①小豆の機械収穫

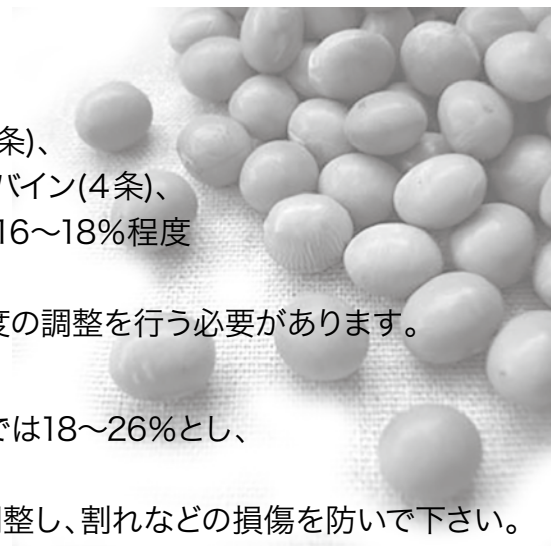
収穫の目安は、「ピックアップ収穫」(汎用コンバイン(4条)、ピックアップスレシヤ)及び「ダイレクト収穫」(汎用コンバイン(4条)、豆用コンバイン(2条))ともに、熟莢率100%で、子実水分16~18%程度(通常では完熟期から2週間以内)です。

過乾燥の条件では損傷粒が発生するので、こぎ胴速度の調整を行う必要があります。

②脱 穀

脱穀時の子実水分は、小豆では16~20%、大正金時では18~26%とし、長期間の「にお積み」や過乾燥状態での脱穀は避ける。

脱穀機の回転数は、豆の種類や粒の大きさに応じて調整し、割れなどの損傷を防いで下さい。



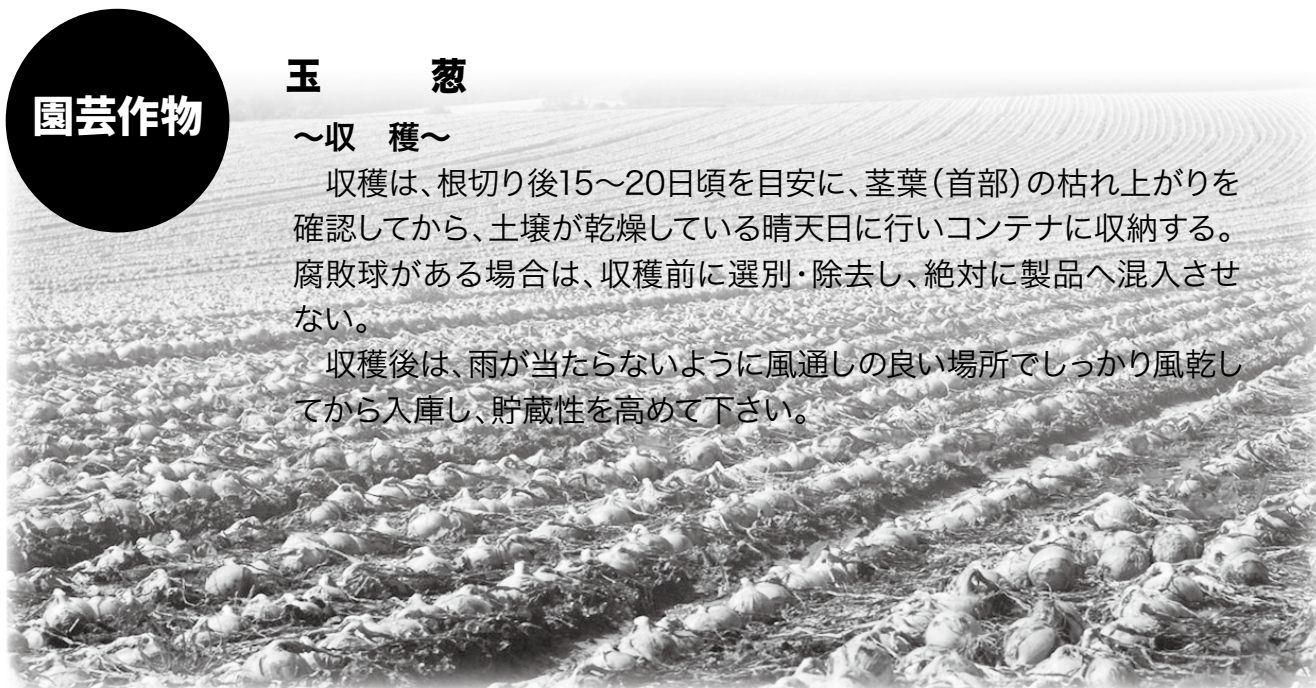
園芸作物

玉 葱

～収 穫～

収穫は、根切り後15~20日頃を目安に、茎葉(首部)の枯れ上がりを確認してから、土壌が乾燥している晴天日に行いコンテナに収納する。腐敗球がある場合は、収穫前に選別・除去し、絶対に製品へ混入させない。

収穫後は、雨が当たらないように風通しの良い場所でしっかり風乾してから入庫し、貯蔵性を高めて下さい。



かぼちゃ

うどんこ病により茎葉の枯死が増加すると、日焼け果の発生が助長されるので、適切に薬剤散布を行って下さい。

露地作型では収穫期を迎えますが、未熟果の混入を防ぐため、外観だけで判断せず、必ず試し切りで内部品質を確認し、適熟果を収穫するようにして下さい。

また、貯蔵・流通中の腐敗果を防止するため、降雨時および降雨直後の収穫は避ける必要があります。



農作業中の熱中症に注意しましょう!

～熱中症は適切な予防をすれば防ぐことができます～

暑さに体が慣れていない梅雨明け直後に、農作業中の熱中症事故が多発しています。熱中症を正しく理解し、予防に努めてください。

熱中症の予防法

熱中症の予防には、「水分補給」と「暑さを避けること」が大切です!



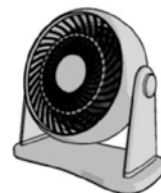
[暑さをしのぐ服装]

- 帽子の着用
- 通気性の良い衣類の着用



[水分補給]

- こまめな水分補給
- 気温の高い時間は作業をしない
- こまめな休憩



[熱中症になりにくい室内環境]

- ハウスや畜舎等の換気
- 遮光や断熱材の施工等による温度上昇の防止



熱中症になった時の処置は・・・



1. 涼しい場所に避難させる
2. 衣服を脱がせ、身体を冷やす
3. 水分を補給する
4. 自力で水を飲めない、意識がない場合は、直ちに救急隊を要請しましょう



注意していただきたいこと・お願いしたいこと

①暑さの感じ方は人によって異なります！高齢の方は特に注意が必要です！

- ・熱中症患者の約半数は65歳以上の方です。年齢を重ねると暑さや水分不足に対する感覚機能が低下し、暑さに対する身体の調整機能も低下しています。
- ・自分の体調の変化に気をつけ、暑さの抵抗力に合わせて、万全の予防を心懸けましょう。
- ・のどの渇きを感じていなくてもこまめな水分補給をしたり、暑さを感じなくても、日陰等を利用し、こまめな休憩をとるよう心懸けましょう。



②まわりが協力して、熱中症予防を呼びかけ合うことが大切です！

- ・一人作業を極力避け、二人以上での作業を心懸けましょう。熱中症の予防を呼びかけ合うことで、熱中症の発生を防ぐことができます。

③節電を意識するあまり、熱中症予防を忘れないようご注意ください！

- ・節電を意識しすぎるあまり、健康を害することのないようご注意ください。
- ・気温が高い日や湿度の高い日には、決して無理な節電はせず、適度に扇風機やエアコンを使用するようにしましょう。

問い合わせ先

農林水産省 生産局 農産部
技術普及課 生産資材対策室 機械開発・安全指導班
TEL：03-3502-8111 （内線：4774）

第15回 JAつべつ杯 パークゴルフ大会を 開催します!!

開催日 令和元年8月31日(土)

開会式 AM8:00~
開会式終了後競技開始
(雨天の場合は9月1日(日)へ順延)

場 所 津別町豊永ふれあい公園
パークゴルフ場(36ホール)



たくさんの賞品を
用意しています!
是非ご参加ください!

募集人数 : 70名(定員になり次第締切させていただきます)

締 切 日 : 令和元年8月23日(金)

申 込 先 : 津別町パークゴルフ協会の方...ふれあい公園協会掲示板へ
町内在住で一般の方...JAつべつ貯金共済課(0152-77-3170)までお名前と生年月日
をお知らせ願います。

EVERY

エブリイ

さらに安全装備が充実!



JA特別パッケージ

good
Job!



PAリミテッド EVAS-LJ3 4WD 4AT PCリミテッド EVBS-LJ3 4WD 4AT

お支払い総額 **127³万円** **136³万円**

●お支払総額は、店内価格の表示に準じます。●ご契約に基づきオプション等の費用が追加されます。●税別価格(税込)は、7月現在のものです。●価格、仕様が予告なく変更する場合がございます。

●お問い合わせは、下記JAまで

JAつべつ 生産資材課(津別町字活汲512番地)
TEL: 0152-76-3430

CARRY

キャリイ

SUZUKI
Safety Support
スズキの予防安全技術

※1 前方追突抑制機能
※2 後方追突抑制機能

安全技術標準装備

JA特別パッケージ



お支払い総額
KCスペシャル4WD 5MT

105⁵万円

●お支払総額は、店内価格の表示に準じます。●ご契約に基づきオプション等の費用が追加されます。●税別価格(税込)は、7月現在のものです。●価格、仕様が予告なく変更する場合がございます。

※1 両輪の追突抑制、※2 両輪の追突抑制、※3 両輪の追突抑制、※4 両輪の追突抑制、※5 両輪の追突抑制

ホクレン

JA

SUZUKI

年金友の会情報

第3回 パークゴルフ大会

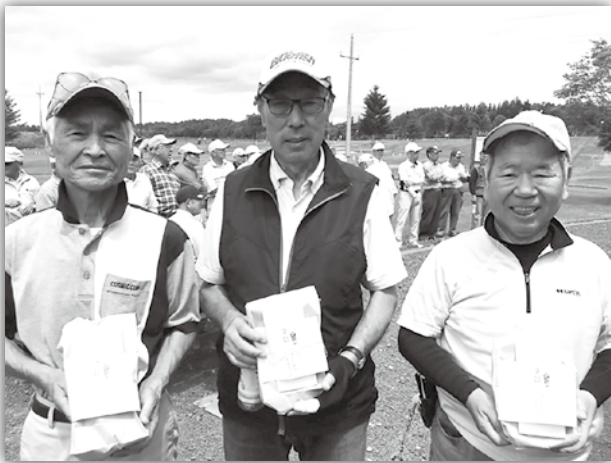
開催日：令和元年7月18日(木)
開催場所：豊永 さくら・いちいコース

〈男性の部〉

優勝	竹内 武二	【 97】
準優勝	佐藤 正明	【 99】
3 位	三島 宏章	【100】
4 位	阿部 八郎	【101】
5 位	山田 明	【101】
6 位	鍛冶 博光	【102】
7 位	土屋 昇	【104】

〈女性の部〉

優勝	佐藤 朝代	【109】
準優勝	阿部 文子	【113】
3 位	石川 峯子	【114】
4 位	篠原 恒子	【116】
5 位	佐野 信子	【116】
6 位	赤池 奎子	【119】
7 位	細川サチ子	【119】



第3回 ゲートボール大会

開催日：令和元年7月2日(火)
開催場所：豊永 屋内ゲートボール場

優勝	土江チーム	【土江幸子・溝淵サカエ・山下昌子・藤原熊男・手賀武一】
準優勝	佐藤チーム	【佐藤朝代・幅口悦子・長尾隆行・井上隆幸・竹内武二】
3 位	藤原チーム	【藤原利信・三上孝子・乙武彰・丸尾諭・大矢根キミ子】
4 位	佐野チーム	【佐野信子・和崎トク・野本弘子・柏木茂・舘野ヨシ子】
5 位	山田チーム	【山田照夫・小野勇・奥村照子・今井保・堂藤優】



第3回 囲碁大会

開催日：令和元年7月17日(水)
開催場所：JAつべつ3階休憩室

優勝	下川 敏章	五段格【4勝】
準優勝	今井 保	四 段【3勝1負】
3 位	金田 義見	五 級【2勝2負】

8月下旬・9月上旬の主な行事

8月 16日	金	お盆休み	9月 1日	日	
17日	土	指定休日(閉庁日)	2日	月	経営会議
18日	日		3日	火	組合長会道外研修(～6日)
19日	月	企画会議	4日	水	
20日	火	安全衛生委員会・スマート農業検討会	5日	木	
21日	水	7月末自治監査(～23日)	6日	金	
22日	木	年金友の会PG大会・永年就農慰労会	7日	土	
23日	金		8日	日	
24日	土		9日	月	つべつふるさとまつり(～10日)
25日	日		10日	火	閉庁日
26日	月		11日	水	
27日	火		12日	木	企画会議
28日	水		13日	金	
29日	木		14日	土	指定休日(閉庁日)
30日	金	家畜の碑参拝・理事会	15日	日	
31日	土	J A 杯パークゴルフ大会	16日	月	敬老の日

第六回理事会報告

開催日
7月23日

報告事項

- ① 令和元年6月末財務状況について
- ② 燃料手当の支給について
- ③ 第1回役員推薦会議について
- ④ 平成30年度共計玉葱の本精算について
- ⑤ 令和元年度基本調査結果について
- ⑥ 道常例検査の受検について
- ⑦ 各作物の状況及び生産者団体の活動状況について
- ⑧ 各課報告事項

付議事項

- 議案第1号
組織変更に伴う規程等の整理について
- 議案第2号
職制規程の改正について
- 議案第3号
オホーツク管内系統でん粉工場再編について
- 議案第4号
大口資金の貸出について
- 議案第5号
マネロンガイドラインとのギャップ分析の実施について
- 議案第6号
甜菜不良苗の対応について

協議事項

- ① 全戸訪問にかかる意見集約について
- ② 家畜の碑慰霊祭について